

愛知県指定無形民俗文化財

大脇の梯子獅子

大脇の梯子獅子は秋に豊作を祝う神事で、今から400年以上前に、愛知郡大秋村(現・名古屋市中村区大秋町)から伝えられたといわれています。昭和42年8月28日に県指定無形民俗文化財に指定され、高さ12mの所に丸太2本を渡した櫓(やぐら)を組み、その上で2人の若者が「たねまき」、「波打ち」、「藤下がり」などの勇壮な獅子舞を演じます。

今回は、獅子頭の新調と櫓の大規模修理を記念して、演技で使用する実物資料や祭礼に関連した特別展示を行います。

とき：令和8年6月～7月の土曜・日曜日
(※6/28(日)、7/26(日)は除く)
午前10時から午後4時

場所：豊明市共生交流プラザ カラット
南館1階 歴史民俗資料室(体験学習室)
※入場無料！

